

一般質問



なかね ひさし
中根 久治 議員

問 三ヶ根駅に日利用公共駐車場を

答 基本計画の策定を考えたい

三ヶ根駅に来ても車を停めて置く場所はない。不意に来て利用できる駐車場が地元の要望だ。早めの対応を問う。

問 地元の声は町へ届いていたのか。

答 環境経済部長 深溝学区まちづくり研究会より提言書が出ている。

中公共駐車場の整備があり、アンケート結果も1位と確認している。

問 三ヶ根駅への日利用公共駐車場の取り組みは。

答 建設部長 基本計画の策定を考えたい。

問 駅周辺の駐車場は月極契約ばかり。不意の利用者「一言さんお断り」の駐車場だけになった。これからどうするのか。

答 環境経済部長 東口のエリアの駅前広場用地やロータリー部分は町有地で、段階的に整備を進め



三ヶ根駅西口のロータリー

ていく。
問 三ヶ根駅前再生マスタープランのような計画を作成してはどうか。

答 町は、3駅とハッピーネス・ヒル・幸田の3駅プラットフォームを拠点としたまちづくりを進めており、時期は明言できないが、考えている。

問 三ヶ根駅西口の再整備を

答 JR東海との協議が必要

いまだ手付かずの西口の課題を問う。

問 三ヶ根駅前休憩所の団地利用には条例の壁があるのでは。

答 環境経済部長 イベントなどで独占的に専用利用する場合は、申請書の提出が必要。

問 西尾市観光案内看板が狭い駅西広場の最も要の場所にある。維持管理や所有者は、移設計画は。

借地料や広告料は。

答 西尾市商工観光課。

今の段階では、移設または撤去は考えていない。基本的に無償。

問 殉国七士の霊廟案内石碑はなぜ駅前にあるのか。町との関係はなにか。

答 昭和42年開業時は、三ヶ根山への観光の最寄り駅として多くの人に利用され、訪れる人への案内標として設置された。管理者は西尾市商工会。

問 バスの待合所、タクシー乗り場、観光案内看板を配置換えして、駐車場を拡大し、三ヶ根駅西口の再整備を。

答 西口のロータリーは、JR東海の用地であり、再整備についてはJRとの協議も踏まえて計画的に進める必要がある。

一般質問

みずの ちよこ
水野 千代子 議員

問 大人も参加できる子ども食堂を

答 地域住民と協力して支援したい



子ども食堂はるたま（東浦町内）

問 子ども食堂は、月に数回無償か安価で子どもたちに食事を提供するものである。現在は、大人も参加できる地域のつながりの場としての役割も果たしており、全国的に広がっている。

答（健康福祉部長） 全国で2286カ所、県内には66カ所の開設。近隣市町の現況は、岡崎市内での実施は、月2回で子どもは無料、大人が300円。東浦町内の食堂では子どもは200円、大人が300円。全て大人も参加できる。

問 運営はNPO法人などであるが、大阪府池田市や宮城県柴田町などは、子ども食堂の開設費と運営費を補助している。認識は。

答 基本的に自主運営が多い。東浦町では社会福祉協議会からの補助、県内10カ所で社会資源を活用した開設モデルがある。

問 子どもだけではなく、地域の高齢者など大人も参加できる子ども食堂の設置を。

答（町長） ボランティア、地域住民、食育の関係者と協力して支援していきたい。

問 障がい者・高齢者などのために、庁舎前、町民会館の駐車場屋外トイレを多目的トイレに。

答（総務部長） 町全体の計画という点で、必要性、優先順位を検討した上で、計画的に考えていきたい。

問 マンホールトイレの設置を

答 先進地事例検討し取り組みたい

問 国土交通省は「マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン2018年版」を策定。設置する自治体が増えている。県内の現況は。

答（建設部長） 県内には2912基。うち名古屋市内に780基、岡崎市に522基、豊田市に409基と進んでいる。西尾市、蒲都市では設置していない。

問 避難所における生活環境が常に良好であるように、マンホールトイレの設置を。

答 先進地の事例を検討し、本町にどのような方法が一番良いか取り組みたい。

問 災害時のトイレ不足を解消する「移動式トイレカー」や、車イス対応の「福祉トイレカー」などがある。導入の考えは。

答（総務部長） 高額なものなので、補助金など計画的に考えていきたい。

その他の質問

問 ICTを活用したマイレポの取り組み。

答 事例を研究して可能性を判断。